様式第１号（９）

特別地域（特別保護地区、海域公園地区）内

水面の埋立（干拓）許可申請書

　自然公園法第20条（第21条、第22条）第３項の規定により　　　国定公園の特別地域（特別保護地区、海域公園地区）内における水面の埋立（干拓）の許可を受けたく、次のとおり申請します。

年　　　月　　　日

申請者の住所及び氏名

　法人にあっては、主たる事務所の所在地

　及び名称並びに代表者の氏名

環境大臣（農林（水産）事務所長）　様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 目的 | |  |
| 場所 | |  |
| 行為地及びその  付近の状況 | |  |
| 施  行  方  法 | 埋立（干拓）面積 |  |
| 工事の方法 |  |
| 関連行為の概要 |  |
| 埋立（干拓）後  の取扱 |  |
| 予  定  日 | 着手 | 年　　　月　　　日 |
| 完了 | 年　　　月　　　日 |
| 備考 | |  |

（備考）

１　添付図面

（１）行為の場所を明らかにした縮尺1:25,000以上の地形図

（２）行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺1:5,000以上の概況図及び天然色写真

（３）行為の施行方法を明らかにした縮尺1:1,000以上の平面図、断面図

（４）行為終了後における植栽その他修景の方法を明らかにした縮尺1:1,000以上の修景図

（５）その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

２　注意

（１）申請文の「　　　　　国定公園」の箇所には当該国定公園の名称を記入すること。なお、不用の文字は抹消すること。

（２）「場所」欄には、都道府県、市郡、町、大字、小字、地番（地先）等を記入すること。

（３）「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等、海域公園地区にあっては、海底の形状、着生する動植物、水深（干満）、潮流等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

（４）「工事の方法」欄には、工事計画（時期、工種等）を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

（５）「関連行為の概要」欄には、支障となる動植物の除去、工事用仮工作物の設置等、申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

（６）「埋立（干拓）後の取扱」欄には、埋立後の用途、風致景観の保護のために行う措置を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

（７）「備考」欄には次の事項を記入すること。

ア　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況

イ　土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み

ウ　過去に自然公園法の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件

（８）用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。